

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 23日

事業所名 とはな

		チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	1日常活動を行うスペースと落ち着いて学習を行うスペースに分け、課題に合った活動ができるよう心掛けています。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	月に1回、職員会議を行い、状況の把握と今後の予定や対策を検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	今回始めて実施しました。今後も定期的にアンケートを実施し、参考にさせていただきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	外部からの評価はしていません。職員間で情報を共有し、改善策を話し合っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	参加可能な限り、研修への参加はしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	6ヶ月に1回作成し、保護者様に説明させていただいている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	子ども達が楽しみに来所してもらえる取り組み内容を考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	室内、室外、製作、お出かけなどバランスよく楽しめる内容を考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇時には学習への取り組みを定着させたり、お出かけなど普段体験できないことをプログラムに盛り込んで行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	支援計画の内容に関しては、保護者様の意向を踏まえた上で、その子に必要な支援を考え、作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝職員間でのミーティングを行い、チームワーク力向上に努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	1日の振り返り時間を30分程行い、最終全職員に連絡ツールを使しながら情報共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	1日の様子を全体的と利用者別とで日報に記録をし、支援の方向性などの目安としています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月に1回のモニタリングを行い、支援の見直しがあれば新たな支援、目標を立てています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%	0%	それらを踏まえて、支援プログラムを組み立てています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	現場責任者である児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時など、学校の先生にその日の子どもの様子などを必ず聞いています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	33%	該当児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて、就学前に利用していた保育園、幼稚園等に問い合わせさせていただく事もあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	該当児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	67%	33%	子ども部会に毎回、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳を利用し、保護者の方にはご理解をいただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者の方から直接相談があった場合、必要な助言をさせていただき、必要に応じて相談先を案内しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%	今現在、保護者会の予定はありませんが、ご要望があれば開催いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	今のところ大きな苦情はありませんが、契約書類等に苦情の対応先を記載し、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%	会報の発行はしていません。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	契約時に書類を交わし、個人情報となる物の保管や掲示に対しての配慮を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	文字やイラストでの予定の誘導など、利用者に応じて伝わりやすいものを検討して行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	今後計画していきたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	感染症に関してはその都度対応を行っていますが、今後はマニュアルとして整理し周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	取り組みの中で定期的に避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に委員会を行い、状況の把握と対策を話し合っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時にアレルギーの有無を確認し、クッキングやおやつの提供時には特に注意を払っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員間で事例検討会を行い、対策や防止に努めています。